（財）佐賀県地域産業支援センター

2007.1
No.47

インフォSAGA

SUPPORT FOR YOUR BUSINESS

地域の研究開発拠点を目指す
九州シンクロトロン光研究センター

当財団で管理運営を行っている佐賀県立九州シンクロトロン光研究センターが、いよいよ動き始めました。これまでも、何回かこの紙面でも紹介してきましたが、最近の状況や将来計画までを含め、改めてご紹介いたします。当研究センターへの理解、若しくは利用の検討などの参考にしていただければ幸いです。

現状及び将来計画

昨年2月、開所式を挙行いたしました。その席には、設置者である古川佐賀県知事はもちろん、麻生福岡県知事や文部科学省等の国の機関、さらには九州経済連合会等の経済団体からも来賓として、多数ご参加いただきました。これは、1つの県立施設の開所式としては、異例のことでしょう。ここに、この研究センターが目的とする産学官連携による産業技術開発の研究交流拠点としての役割に寄せられる期待の大きさを感じます。

現在、第Ⅰ期の整備として、県有ビームライン（実験装置）3本が完成し、この利用もスタートしています。まずは、国内でも数少ない先端的研究施設で一般の方の馴染みも少ないことから、この研究センターでどういうことができるのかを具体例として示すためのパイロットユースや、初めて利用するユーザーにその有効性を実体験していただくためのトライアルユースを中心に運用しています。その状況は次にお示ししておりますので、ご参考にしてください。

また、今年度からは、第Ⅱ期整備計画として、4～6本目の県有ビームラインの整備など、施設設備の更なる充実に取りかかっているところです。

21世紀の産業をリードするキーワードとしては、ナノテクノロジーやバイオテクノロジーなどがよく使われますが、こうした先端技術分野はもちろんのこと、農林水産業、窯業などの地域産業、伝統産業にも応用できる可能性をシンクロトロン光は秘めています。こうした多様な分野での利用を推進し、地域の、ひいては世界にも誇れる研究開発拠点を目指していきたいと考えています。

なお、ユーザーとしての利用のほか、一般的な科学技術の振興や人材の育成なども当研究センターの重要な役割の1つとなっています。様々な形でのご利用をお待ちしております。

CONTENTS

- 九州シンクロトロン光研究センター（九州シンクロトロン光研究センター） 1～4
- 事業可能性A評価企業紹介（㈱創新）（経営支援チーム） 5
- 海外取引案内（㈳佐賀県貿易協会）（経営支援チーム） 6
- 企業紹介（㈲八戸製作所） （企業振興チーム） 7
- 設備貸与制度利用企業紹介（㈱天山本舗）（企業振興チーム） 8
- 創業事例紹介（杏慕樹） （総合相談チーム） 9
- びわ湖環境ビジネスメッセ2006出展報告（研究開発推進チーム） 10
- サービスセンター利用者の声（㈱モトシマ）（勤労者福祉サービスセンター） 11
- ベンチャー企業紹介（㈲関窯舎） （経営支援チーム） 12

利用状況

平成18年4月から10月までの上期利用実績を見ると、32件540時間の外部利用がありました。

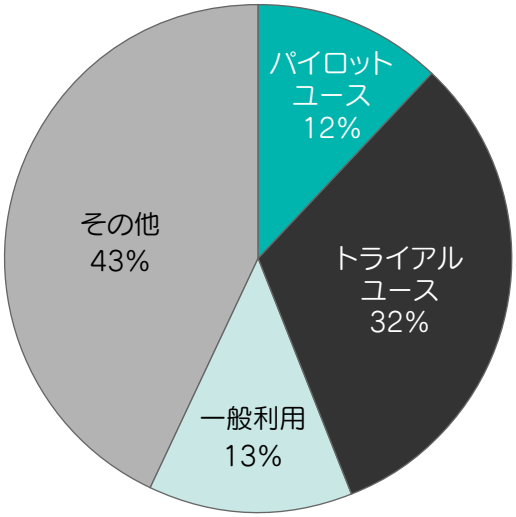


図1　利用区分内訳

その内訳としては、図1のとおり

・パイロットユース12%(2件65時間)
・トライアルユース32%(13件175時間)
・一般利用(有料利用)13%(5件70時間)
・その他(装置調整等)43%(12件230時間)

となっています。

そのうち、特に、パイロットユース、トライアルユース及び一般利用について見てみると、利用者の所属別では企業と大学がそれぞれ半分ずつ程度(図2)、利用分野別では過半数が材料関係(図3)の利用となっています。この傾向は、まだオープンして日が浅いこと、立ち上がっている装置が限られていることなどもあって一概には言えませんが、ある程度の現状を表しているものと思います。今後、利用者、利用分野ともに広がっていくことを期待しており、また、そうなるよう努力していきたいと考えています。

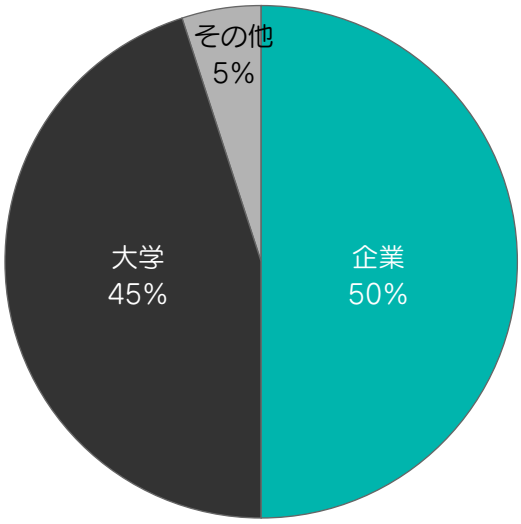


図2　利用者所属別内訳(人数)

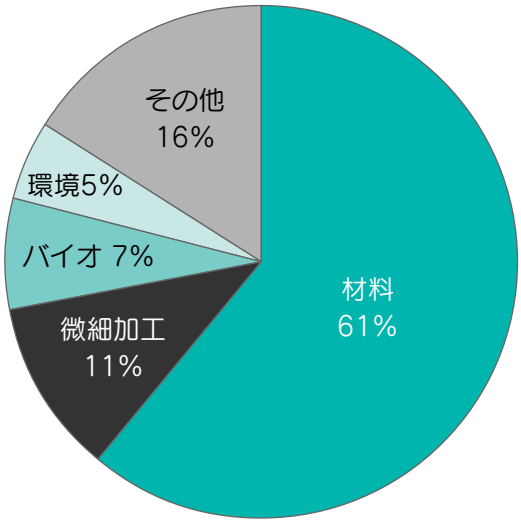


図3　利用分野別内訳(時間数)

今年度中は、各種装置の立ち上げ調整に主眼をおいた試験運用期間と位置付け、基本的には期間全体をトライアルユース期間として無料でお使いいただいています。来年度以降には正規運用として利用料金の段階的負担もお願いすることになってまいりますが、初回無料のトライアルユースは残りますし、県内企業減免や共同研究等のメニューも充実し、手続きの簡素化などはもちろん、様々な形でユーザーフレンドリーな運用を行っていきたいと考えております。もし、こうした装置の利用に興味をお持ちの際は、お気軽にご相談ください。

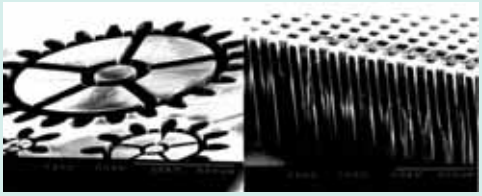
実験装置の紹介

BL09 材料加工・プロセス開発ビームライン

BL09は、幅広いエネルギーの光をそのまま取り出す白色光ビームラインと、瀬谷-波岡分光器により10～50 eVの光に分光する極紫外光(EUV)ビームラインから構成されており、それらは独立に使用が可能です。

研究分野(キーワード)

ナノ薄膜形成、微細加工(LIGA)、
光化学反応解析、表面改質など



パイロットユース(住友電気工業㈱)

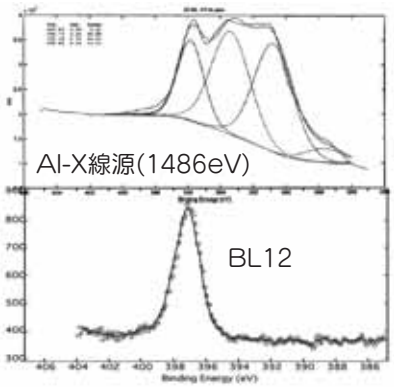
BL12 軟X線利用材料分析ビームライン

BL12では、斜入射型の分光器を用いて、40～1000eVのエネルギーを持つ軟X線を利用した光電子分光及び軟X線吸収端微細構造分析を行うことができます。

研究分野(キーワード)

半導体･セラミックス･金属薄膜
(表面状態分析)、
軽元素材料･薄膜
(局所構造、電子状態)

実験室系の装置でGaN中のN元素の光電子分光を行うと、右図上段のようにGaオージェ電子が重なるが、シンクロトロン光を使うと、下図のようにN元素のみを測定できる。



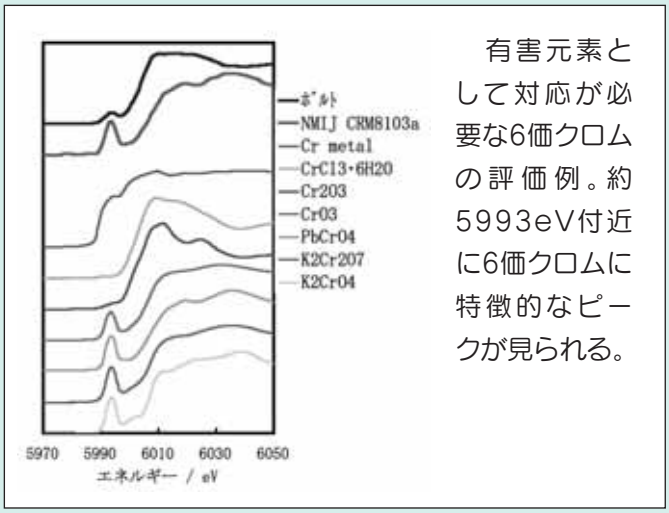
トライアルユース
(㈱東レリサーチセンター)

BL15 構造科学イメージング分析ビームライン

BL15では、定位置出射型のSi(111)2結晶分光器を用いて、2.1 ～ 14.2 keVのエネルギーを持つX線を利用した回折・散乱・吸収等の測定を行うことができます。

研究分野(キーワード)

磁性多層膜(厚さ)、ナノパーティクル(粒径、分布)、非晶質半導体膜・セラミック材料(局所構造)、半導体基板(歪分布など)



有害元素として対応が必要な6価クロムの評価例。約5993eV付近に6価クロムに特徴的なピークが見られる。

トライアルユース(㈱日産アーク)

シンクロトロン光利活用を進めるにあたって

当センターは、シンクロトロン光を利活用することにより「地域産業の高度化と新規産業創出」、「多様な産学官連携促進」、「科学技術分野の人材集積」の拠点となることを目指しております。具体的には電子デバイス、ストレージ、ディスプレイ、通信、エネルギー、機能性材料、環境、バイオメディカル、コスメティク、食品、農林水産、窯業などの広い分野を視野に入れて材料評価・解析や微細加工への利活用を進める所存です。もちろん既設のシンクロトロン光施設でも上記分野の利活用が進められており、学術分野でも原子・分子、新物質、酵素・蛋白質などの探求に威力を示しております。

また、広範囲な利活用分野に関連して、世界のシンクロトロン光施設数は面白い分布を示しております。世界中の施設の総数は約60ですが、そのうち米国と日本に併せて約40%の施設が集中し、この数字は世界のGDPのうち日米が占める割合とほぼ一致しております。さらに、日本とBRICsのGDPは遂に並びましたが、施設数もほぼ同数です。このことは、上記の広い分野で利活用されつつあるシンクロトロン光施設が国の競争力と相関があることを示しているようにも思います。その意味でも、当センターが競争力ある地域拠点となるよう微力を尽くしたいと思っております。

今後とも、冒頭のセンター理念の下でシンクロトロン光の利活用を通して皆様の思いを具現化するお手伝いをさせていただきたいと念願しております。どうぞ宜しくご指導・ご鞭撻の程お願い申し上げます。

副所長　平井 康晴

●お問い合わせ先　九州シンクロトロン光研究センター
TEL:0942－83－5017　FAX:0942－83－5196
URL:http://www.saga-ls.jp/　E-mail:info@saga-ls.jp

事業可能性評価事業「A評価」企業の紹介
～ ㈱創新　仮設駐車場車輌管理システム ～

今回ご紹介する企業は　鳥栖市の㈱創新さんです。当社は、8月に行われた平成18年度第2回事業可能性評価委員会において、「仮設駐車場　車輌管理システム」で最高の評価であるA評価を受けられました。社長の田中亨さんにインタビューしました。

Q この事業に取り組まれたきっかけは?

当社は、コインパーキングシステムや各種セキュリティシステムの開発から、販売・保守・管理までを一貫して手がけています。

今回、このシステムを開発したきっかけは、「佐賀インターナショナルバルーンフェスタ」です。以前から、この佐賀を代表するイベントに何か貢献できないかと考え、ご協力をさせていただいてきたわけですが、まさにそういった現場で発案したものです。

Q 仮設駐車場　車輌管理システムとは?

このシステムは、各種イベントにおける「仮設駐車場」の入出口にセンサーを設置して、そこから入出庫台数のデータを大会本部等に発信し、本部等のパソコン上で監視し、管理を行うというものです。

大型イベントなどでは、同時に複数の駐車場が設けられますが、従来は、各駐車場に張り付いているスタッフから無線などで随時寄せられる「断片的な情報」をもって車輌誘導を行って来られたかと思います。

一方、このシステムをお使いになられますと、台数が本部でリアルタイムに把握できますので、来場者の誘導をスムーズに行い、トラブルや周辺道路の渋滞といったクレームを未然に防ぐことが出来ます。そして何より、イベントにお越しいただいたお客様に気持ちよくお帰りいただけると思います。

さらに、入出庫台数のデータが時系列で残りますので、後日、次回の計画を検討される場合などにもお役に立てると思います。

Q 今後の抱負は?

広告代理店や自治体にはレンタル方式、イベント機材リース会社には売り切りを想定しており、営業を強化しているところです。

当社は常設、仮設を問わず「駐車場」に関してのトータルプロデュースを目指しており、この「仮設駐車場　車輌管理システム」も、そのひとつのきっかけになればと考えています。

★担当マネージャーから一言

今回のA評価のポイントとなったのは、
① まったく新しい製品であること(同様の製品が世の中に存在しない)
② 提供するソリューションが明確であること
③ 中小企業のビジネスプランの定石であるニッチビジネスであること
④ 低価格で実現できたこと
です。今後、販売面での助言を中心に支援を行っていきたいと考えています。(担当マネージャー：今釜)

創新のみなさん。一番左が田中社長

■会社概要

株式会社　創新
創　　業：平成15年9月　資 本 金：5,100千円
従業員数：8名
業務内容：コインパーキングシステム及びセキュリティシステムの開発・販売・保守・管理、各種ソフト開発、ASP事業
所 在 地：〒841-0073 佐賀県鳥栖市江島町下牟田3119-2
T　E　L：0942-87-5508　F　A　X：0955-46-4782
U　R　L：http://www.soh-shin.net
E-mail：ss-network@soh-shin.co.jp

●お問い合わせ先　(財)佐賀県地域産業支援センター　経営支援チーム
TEL:0952-34-4422　E-mail:support@mb.infosaga.or.jp

海外取引でお困りになることはありませんか?

現在、県内企業の多くが海外取引を行っています。皆さんの企業は、これまでに海外取引で困った経験はありませんか？そういう場合に、原則無料で活用できる機関があります。これから海外取引を考えている企業さんも是非覚えておいてください。それは、「社団法人佐賀県貿易協会」です。

貿易・投資相談

「社団法人佐賀県貿易協会」では、県内企業の貿易や海外投資に関する相談を親身になって聞いてもらえます。担当者から輸出や輸入、海外拠点の設置など、海外取引全般について適格なアドバイスが受けられるほか、JETROなどと連携して各分野の専門家や実務者によるアドバイスも受けられます。

海外委託駐在員制度

また、海外で自社製品の販売ルートや販売価格などの調査をしたいがその方法がよくわからないとか、商談相手の信用情報の入手方法がよくわからず困った経験はありませんか？

「社団法人佐賀県貿易協会」には、

- 新たな海外取引先を開拓したい･企業情報がほしい
- 海外の輸出入に関する法規制を確認したい
- 海外の取引先を訪問する際に同行･サポートしてほしい
- 海外の見本市に出展してみたい

などの御要望に対して北京･上海･台北･ソウルの4都市在住の佐賀県海外委託駐在員にサポートしてもらえる「海外委託駐在員制度」があります。

(活用企業の声)

- ◆韓国の商談の際に同行していただき、また、大変参考になるアドバイスもあった。その結果、大きな成功につながった。
- ◆中国での取引先を探す際に、事前に現地の情報を聞くことができて、大変役にたった。
- ◆中国で見本市に出展したときに、事前に現地のニーズを把握できたので効果があった。

など、多くの活用企業が成果をあげています。

国際ビジネス アシスタント

それから、「海外から来客があり、通訳を依頼したい」、「外国語のカタログを翻訳する人を探している」、「製品に対する外国人の意見を聞きたいが依頼する人がいない」などお困りになったことはありませんか？

「社団法人佐賀県貿易協会」には、H18.3末現在、中国、韓国、マレーシア、タイなどの出身者54名の留学生が登録されていて企業に適した人材(国際ビジネス　アシスタント)の情報を提供してもらえます。登録者は、日本語が上手で、「日本の企業に就職し、将来はその経験を活かしたい」とか「母国と日本との架け橋となってビジネスで活躍したい」など強い意志を持つ優秀な方々ばかりです。

(国際ビジネスアシスタントの活用事例)

- ◆H15年度：6社、8名(展示会出展時の通訳業務、翻訳等)
- ◆H16年度：10社、27名(中国製工作機械取扱説明書の翻訳、商談における通訳等)
- ◆H17年度：11社、22名(英文契約書の翻訳、韓国取引先への応対、通訳等)

【社団法人 佐賀県貿易協会から一言】

当社団は、佐賀県の貿易振興を図るため、県内唯一の民間貿易振興団体として昭和39年4月にスタートし、輸出入や海外進出など企業経営の国際化に関する相談業務等の各種支援を行っています。是非お気軽にご相談ください。

●お問い合わせ先

社団法人 佐賀県貿易協会
〒840-8570 佐賀市城内一丁目1番59号 佐賀県流通課内
担　当：高島事務局長、大塚
ＴＥＬ：0952-26-1474　FAX：0952-26-1479
E-mail: seta@sagatrade.info　http:// www.sagatrade.info

多パレット稼働による短納期ニーズに対応します

ー㈲八戸製作所ー

㈲八戸製作所は昭和47年10月に創業し、農機具部品の切削加工を開始されました。

昭和56年4月には法人化されました。その後、平成3年10月には工場移転し、複合NC旋盤や立型マシニングセンター等新鋭設備を導入し、農機具部品から一般産業機械部品等々へと業務を拡大しております。

また、平成17年12月に隣地300坪建物100坪を購入、横型マシニングセンター(500角・6パレットチェンジャー)を導入し、生産性の向上を図り、ユーザーの短納期ニーズに対応しております。

当社は100φ～350φの加工能力はあるが、主力製品は100φ～200φであります。

今後は更なる高品質・複合形状の加工技術力の向上に一層努められております。

工場全景

《会社概要》

■所 在 地：三養基郡上峰町大字前牟田1551-1
■代 表 者：八　戸　勝　久
■資 本 金：5,000千円
■従業員数：14名
■T　E　L：0952-52-8705
■F　A　X：0952-52-8706
■主要製品：一般産業用機械部品
■お問い合わせは八戸社長までお願いします。

《主要設備》

機械設備名	型式・能力	台数
横型マシニングセンター	800×650×750(ATC120本)	1
立型マシニングセンター	1600×500×650	1
立型マシニングセンター	1050×650×650	1
CNC旋盤	複合200×500(Y軸制御)	1
CNC旋盤	複合250×1000	1
CNC旋盤	複合250×700(Y軸制御)	1
NC旋盤	280×500	1
NC旋盤	200×450	2
NC旋盤	350×500	1
NC旋盤	250×300	1
NC旋盤	200×300	1
旋盤	6尺(2)・5尺	3
ターレット旋盤	4Dチャック	1
立型NCフライス盤	#2	1
立型フライス盤	#1	1
センタリングマシン	80×700	1
スロッター	ストローク150	1
転造盤	15トン	1
ボール盤	520・550他	4
タッピングマシン		1
全自動鋸盤		1

横型マシニングセンター(500角・6パレットチェンジャー)

加工品

設備貸与（割賦）制度の利用企業訪問

当センターでは、小規模企業の皆様が設備を導入される際、設備導入資金を支援しております。過去に当制度をご利用されました企業をご紹介いたします。

株式会社 天山本舗

■所 在 地：小城市小城町842番地2
■代 表 者：代表取締役　七田　義孝(しちだよしたか)
■資 本 金：1,000万円
■従業員数：10名
■創　　業：昭和27年2月
■取扱製品：小城ようかん･水ようかん･フルーツゼリー製造･販売
■電　　話：0952－72－3356
■Ｆ Ａ Ｘ：0952－72－3333
■Ｕ Ｒ Ｌ：http://www.tenzanhonpo.co.jp

七田　義孝 様

●企業概要

同社は初代七田秀孝氏が昭和27年2月1日佐賀の名醸天山酒造㈱より独立し小城羊羹を製造･販売の専業メーカーとして創業。

添加物、着色料など一切使わず原材料にこだわり、自然のままの風味や息吹をいかに羊羹として表現するかに腐心し「良いものは必ずお客様の御支持が得られる」を合い言葉に年間200万本強の羊羹を出荷されています。

多くのお客様にご愛顧いただく大きな責任を痛感しつつ、より美味しい満足をお届けするため、役職員“一意専心”の思いで日々努力され、業績も順調に拡大されています。

製　　品

●制度利用の経緯と評価

安全･安心が求められる食の世界では当然のことですが、究極の安全･安心を追求するために機械による異物混入防止検出機の導入を計画。私共の様な中小企業を支援する佐賀県地域産業支援センターに相談したところ割賦制度を活用することができました。また、1年間の据置き償還は非常に助かりました。

導入機械（アルミ包材用金属検出機）

小規模企業者の皆様の設備導入を支援します

（一部、従業員50名以下の中小企業者の方々も対象とします）

･設備割賦　年利2.50%　（県から1.0%の損料補給の対象となります）
･設備リース
（注）設備資金貸付制度は休止しています

●**お問い合わせ先**　（財）佐賀県地域産業支援センター　企業振興チーム　担当／山口･角田
TEL　0952－34－4416（直通）

新規創業事例のご紹介

総合相談チームでは、独立開業などこれから佐賀県内での創業を考えておられる方や中小企業者が抱える様々な経営の問題に専任のスタッフがご相談に応じております。今回は、そうしたご相談のあった事例として、県外からUターン創業されました「杏慕樹(あんぼじゅーる)」さんをご紹介します。

企業の概要

企　業　名	杏慕樹　あんぼじゅーる
所　在　地	西松浦郡有田町丸尾丙1933-1
代　表　者	大　串　堅　輔
従業員数	3名(家族従業員含む)
業　　種	洋菓子製造販売
創業年月日	平成18年10月27日
T　E　L	0955－41－1122
営　　業	AM10:00～PM8:00(毎週水曜日定休)

立地・環境

杏慕樹(あんぼじゅーる)は県道伊万里有田線の有田町外尾山交差点から少し西の有田町丸尾地区にあります。周辺には有田焼卸団地や住宅地の赤坂団地があります。

事業内容・今後の展開

よい素材選びにこだわり、洋生菓子を中心として、生菓子17～18種、半生菓子5～6種、クッキー等乾菓子、ジャムの製造販売を行っています。

お奨め商品としては、九州ではほとんど目にしないスペインの祝日の代表的な菓子であるポルボローネス(ポルボロン)が好評です。コーヒー、紅茶、緑茶などお茶の種類を選ばずお茶請けとして出せる便利なお菓子です。味は現在のところ3種類ですが、今後アイテム数を増やしていく予定です。また、地元窯元と連携し、有田焼の器を使った商品開発をしたいと考えています。

創業に至るまでの経緯

東京の大学を卒業後、神田小川町の洋菓子店で6年間の修行の後に、田園調布の有名洋菓子店に移り、スイスのリッチモンド製菓学校での短期研修受講、同社で2つの製菓工場長と店長を務めておりましたが、定年に関係なくお菓子作りを続けていくため独立を思い立ち、平成18年に同社を退職し、平成18年10月27日に念願の店を開くことができました。

勤め先のありました田園調布・自由が丘地区は日本スイーツ界最先端の地であり、経験を生かせる場所ではありましたが、既に店舗は飽和状態にありましたので、慣れ親しんだ出身地の有田町を選びました。

創業前後に直面した課題など

素材選びにはこだわっていますが、流通の関係で東京からの取り寄せとなる物もあり、予想よりも反響が大きいこともあって、素材調達に要する時間が短縮できないかと考えています。

●お問い合わせ先　総合相談チーム　TEL:0952－34－4523　FAX:0952－34－4412
E-mail:soudan@mb.infosaga.or.jp

「びわ湖環境ビジネスメッセ2006」出展のご報告

とき 平成18年10月25日(水)～27日(金)　**ところ** 滋賀県立長浜ドーム(長浜市)

平成18年10月25日(水)～27日(金)、滋賀県立長浜ドーム(長浜市)において「びわ湖環境ビジネスメッセ2006」が開催されました。

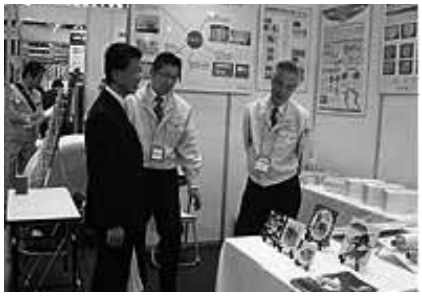
本展示会は「環境と経済の両立をめざして」をコンセプトに、地球環境の保全や、社会の環境対策に関する製品・技術・サービスを紹介する有数の環境産業見本市です。

本年は、全国から過去最多の260企業・団体が参加し、出展者によるプレゼンテーションやセミナー・シンポジウムが行われました。

3日間の来場者数　合計36,510人
10月25日：10,490人、26日：12,630人、27日：13,390人

佐賀県からは**岩尾磁器工業株式会社、日本建設技術株式会社、株式会社ワイビーエム**の3企業が出展しました。出展内容は以下のとおりです。

各企業の出展内容



岩尾磁器工業株式会社（西松浦郡有田町／0955-43-2111）

有機溶媒の処理に用いられるセラミックの「蓄熱体ハニカム」や、下水道の水処理に使われる散気筒等、環境の浄化に利用される製品を展示しました。また、県内有数の陶磁器メーカーとして、セラミックの新たな用途開発が提案され、数々の陶芸品とともに、来場者の目を引きつけました。

日本建設技術株式会社（唐津市北波多／0955-64-2525）

廃棄物のガラスを再利用して造られた「ミラクルソル」は、環境にやさしい材料として海・河川の水質浄化に役立っています。

展示会では、ミラクルソルの用途開発や、水質の浄化システムについて紹介され、地域や地球環境の改善に向けた取り組みをアピールしました。

株式会社ワイビーエム（唐津市原／0955-77-1121）

オゾンや酸素を高い濃度で溶解することが可能な「噴流式水質浄化システム」は、アオコの発生や悪臭を抑制して水質の改善に大きな効果を現します。

噴流装置のデモンストレーションに関心を示した方が多く、装置の試作を含めて今後の営業活動が期待されます。

【出展者の説明に熱心に聞き入る滋賀県知事】

出展者の声

・新規顧客の情報が得られた　・入場者数が多く、広く技術、商品のアピールができた
・来場者が広範囲より来られており、地域営業に効果があった

●お問い合わせ先　(財)佐賀県地域産業支援センター　研究開発推進チーム
TEL：0952-34-4413　FAX：0952-34-4412

中小企業勤労者福祉サービスセンター

新年明けましておめでとうございます。中小企業サービスセンターは、今年も皆様に喜んでもらえるサービスの提供に努力していきたいと思います。どうぞ、よろしくお願い致します。

昨年、佐賀市兵庫町に大型ショッピングセンターがオープンしました。そこは「夢咲コスモスタウン」とよばれる地域で、今後は住環境や自然環境がますます整備され、佐賀都心の注目のエリアです。お正月に久しぶりに佐賀に帰省された方は、この辺りのめざましい変化に驚かれたことでしょう。数年後のさらなる変化は、現在の我々の想像を越えるものとなることと思います。今回は、「夢咲コスモスタウン」の南東に位置し、昨年新しく中小企業サービスセンターの会員になっていただきました　株式会社　モトシマ　様をご紹介します。

株式会社　モトシマ

〒840-0001　佐賀市巨勢町修理田1201
TEL:0952-25-3652　FAX:0952-24-9090

モトシマは、昭和22年の創業以来、地域のモータリゼーションの発展と共に歩み、自動車並び産業用車輌、機械の整備を主体に、顧客ニーズに合わせ、自動車等の販売、カーリース、自動車保険の取扱い、移動体通信の普及に伴う自動車電話、携帯電話の取扱い、高速自動車道の開通に伴うレッカー業務受託とお客様のカーライフの発展多様化に常に対応できるサービス体制を築き上げてきました。

従業員への福利厚生に関しては、社内互助会として会費を徴収し、冠婚葬祭・慰安旅行・懇親会等に利用してきました。今回、中小企業サービスセンターへ加入することで、人間ドックや一般健診での助成金の交付、JRの切符や映画のチケットを安く購入できることは、当社の福利厚生をますます充実させるものとなりました。まだ入会したばかりですが、今後は中小企業サービスセンター発行の会員誌を参考にしながら、積極的に参加、活用していきたいと考えています。今後ともよろしくお願いします。

総務部 部長　吉浦　光則

営業案内

●自動車・建設機械・フォークリフト点検整備(車検・特定自主検査等)●自動車・建設機械・フォークリフト板金塗装
●特殊車輌架装及び整備(クレーン・パワーゲート・ダンプ・トレーラー・ミキサー・・・)
●特殊機器整備(噴射ポンプ・コンプレッサー・バスクーラー・・・)
●車体架装改修(フレーム修正・ボディー製作)●LPガス自動車改造及び気密検査
●車体防錆塗装(グッドワン佐賀防錆センター)●各種自動車・建設機械・フォークリフト販売(全メーカー新・中古車)
●カーリース及び車輌保守管理業務●損害保険上級代理店(自動車・火災・新種等損害保険各種取扱い)
●レッカー業(日本道路公団指定・24時間営業)●自動車電話、携帯電話販売並びに工事店●NTT関連商品販売
●生命保険代理店●ホリデー車検、FC加盟●カーコンビニ倶楽部●ボルボトラック・長崎・佐賀・熊本地区代理店

中小企業サービスセンターでは、
県内の中小企業の福利厚生をサポートしています!!

URL:http://www.infosaga.or.jp/service/start.htm
E-mail:service@mb.infosaga.or.jp
TEL:0952-34-5522　FAX:0952-34-5523

県内のベンチャー企業紹介

佐賀県ベンチャー交流ネットワーク参加企業　第32回

今回ご紹介する企業は、有田町の（有）関窯舎です。社長の関秀哉さんは、福岡の出身で大学卒業後に深川製磁に入社され24歳のときに再び大学院に入学され地質学を専攻されました。その後、長崎県の窯業技術センターに就職され、定年退職前の10年間は所長として活躍された方です。

長崎県窯業技術センターの所長時代から、軽くて丈夫な磁器を製作するということにこだわり、トリジマイトという物質に注目されてこられました。

退職後もトリジマイトの抽出方法やトリジマイトを活用した磁器製作の研究に没頭されています。平成15年、16年には、佐賀県新世紀ベンチャー創出支援事業の助成を受けてトリジマイト磁器の開発を本格化されました。その特徴は、軽くて丈夫ということに加えて透光性の高さです。その透光性の高さを活用したアロマランプの製作をされています。

更に、驚くべきことは、トリジマイトの特性から生まれた新素材"白磁シート"開発されました。これは、少し厚めの折り紙のようなものです。それを折り紙と同じように要領で鶴などを折って絵付けをし、電気窯で焼くと世界にひとつだけの有田焼の折鶴が出来上がります。

この素材を活用すれば、今まで考え付きもしなかった新しい有田焼が可能になります。即ち、ろくろ、型成型などの今までの製作方法とはまったく新たな方法が可能になります。

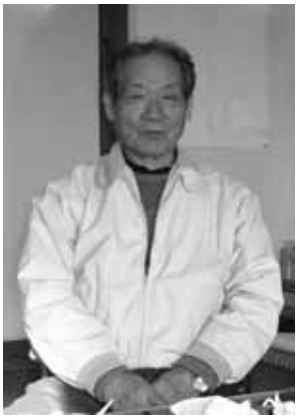
社長の関さんは、この"白磁シート"を活用して新たな有田焼の世界を広げることと、今まで考え付かなかったニーズの創出に向けてチャレンジを続けておられます。

㈲関窯舎（かんようしゃ）
業種：トリジマイト磁器の製造販売

〒849-4152
佐賀県西松浦郡有田町広瀬甲1501-1
TEL 0955-42-4531　FAX 0955-42-4531
E-mail:sekishu@bronze.ocn.ne.jp

Q1.『白磁シート』を開発されたきっかけは？

トリジマイトと天草陶石などを混ぜる過程で、なかなか沈殿せず、浮遊を続けているという困った状況があった。そのことから逆転の発想でこれを活用できないかと考え、これを紙状の素材に均一に浸透させることで、この"白磁シート"の開発を思いついた。


～社長の関 秀哉さん～

～白磁シートで作った有田焼の折鶴～

Q2.佐賀県ベンチャー交流ネットワークに参加して、良かったことは何ですか？

佐賀県内企業の交流会という集まりは非常に良いし、これからも、続けてほしい。また、異業種の社長との意見交換が出来るのもこの会の良さと思う。

Q3.今後の夢は何ですか？

子供たちの中には、机上の勉強は苦手だが、物作りについては、類まれなる才能を持っている子供も少なくない。そのような子供たちの才能を育てるには、物作りの過程を体験しながらその楽しさを実感する必要があると思います。

この"白磁シート"が、全国の小中学校や養護学校などで、新しい教材に活用してもらい、物作りの楽しさを伝えることが出来て、子供たちの物作りの才能の芽を育てることに役立つことが一番の夢です。

佐賀県ベンチャー交流ネットワークへの参加をお考えの皆さんへ

●**お問い合わせ先**（財）佐賀県地域産業支援センター　経営支援チーム　野田
TEL：0952-34-4422　メール：support@mb.infosaga.or.jp

インフォSAGA（No.47号）　平成19年1月10日発刊（隔月奇数月発行）
発行者：財団法人佐賀県地域産業支援センター
〒849-0932 佐賀市鍋島町八戸溝114
TEL：0952-34-4411（代）　FAX：0952-34-4412
URL　http://www.infosaga.or.jp/
E-mail：infos@mb.infosaga.or.jp

R100 古紙配合率100%再生紙を使用しています